

3 バリアフリー対策

都営新宿線一之江駅のエレベーター整備について

Q1 東日本大震災でエレベーターに大きな被害があったことを受け、安全性向上のため、技術基準が改正されると聞いている。このことにより完成が遅れることが懸念される。そこで、新宿線一之江駅の進捗状況と今後の見通しについて、都の見解を求める。

A1 交通局長 一之江駅の乗換経路のエレベーター設置工事を平成26年度中に開始できるよう準備を進めている。現在、国は、エレベーターの安全に関する基準の改定を進めている。交通局としても、改定内容を設計に反映させた上で速やかな工事着手に努めていきます。

福祉のまちづくりについて

Q2 今後は、ハード面とともに、情報バリアフリーなど、ソフト面での充実も必要。東京を全ての人が快適に暮らし、また訪れることができるまちとしていくために、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進すべき。



A2 都知事 2020年東京五輪・パラリンピックでは多様な文化や習慣を持つ国々から多くの旅行者が訪れる。また、2025年には、東京は4人に1人が65歳以上という高齢社会となる。今後、公共交通、道路等におけるバリアフリー化の推進、手話のできる都民の育成を始めとした、情報バリアフリーの充実など、ハード・ソフトの両面から施策を充実させていきます。

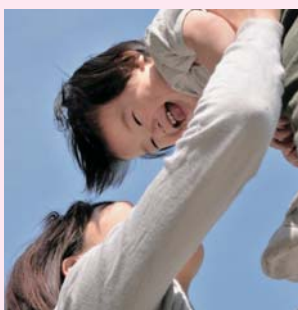
・環境・エネルギー対策

平成26年度に新たな助成制度を創設

新築マンションとともに既存マンションのスマート化も普及促進が求められています。マンションへのエネルギーマネジメントシステムいわゆる、MEMS(メムス)の導入について、都は平成26年度に新たに導入費用の2分の1を助成する制度を創設し、エネルギー利用の効率化を図っていきます。

・子育て支援

送迎保育ステーション支援制度を創設



都は、保護者の利便性の良い場所に送迎保育ステーションを設置し、専用のバス等で定員に余裕のある保育所まで児童を送迎する、区市町村の取組を支援する制度を創設します。今後区市町村への説明会を開催するほか、広く制度を周知し活用を促すとともに、保護者や事業者の理解を得るための区市町村の取組も積極的に支援していきます。

・高齢者支援

仕事と介護を両立できる新たな「東京モデル」を

家族の介護や看護のためやむを得ず仕事を退職する「介護退職」が深刻な問題となっています。都は企業の先進的な取組を発信し、介護と両立できる働き方を広めていきます。また中小企業の就労実態を把握し、都として講ずるべき対策を検討していきます。

特別養護老人ホームの整備費増額へ



特別養護老人ホームの待機者を解消するため都は①医療と介護の連携強化②地域での見守りの充実③特別養護老人ホームの定員増・整備費補助単価の増額など、介護サービス基盤の整備に向け全力で取り組みます。

・防犯対策

ストーカー・DV対策を強化へ

ストーカーは放置すると次第にエスカレートし、重大な犯罪に発展するおそれがあります。警視庁では昨年12月に、より迅速かつ的確な組織的対応を図るため「ストーカー・DV総合対策本部」を設置し、また同本部内に「ストーカー・DV事態対処チーム」も立ち上げました。今後とも、被害者等の安全確保を最優先し、ストーカー被害等の予防や拡大防止を図っていきます。

・女性の活躍

総力を結集して推進

少子高齢化の急速な進展に伴い人口が減少する中で、東京が今後とも活力を維持し、さらに発展するためには潜在能力を持つ女性のさらなる活躍が不可欠です。企業・地域など社会全体で女性の活躍を推進するため、都の総力をあげていきます。



・待機児童対策

調査をもとに、保育サービスを提供



子育てをしながら仕事を続けたい保護者にとって、保育サービスの充実が切実な願いです。保育サービスの整備目標といつまでにどれが整備するのかを定めた工程表を作成し、年内に策定する長期計画に反映させます。また、施設整備の補助、区市町村の負担軽減など、待機児童解消に向け全力で取り組んでいきます。

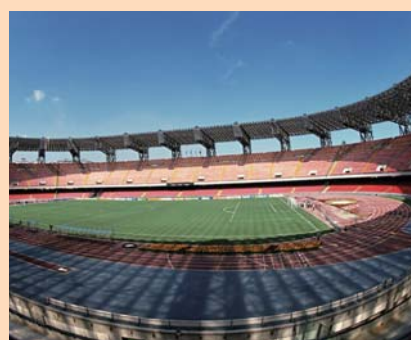
・復興なくして東京五輪の成功なし

被災地の復興につながる五輪に

2020年五輪開催を通じた被災地支援は、被災自治体等と緊密な連携を図り、被災地の方々の声をきめ細かく聞くことが必要です。大会組織委員会に、被災地のニーズを受け止めて事業に反映させていく担当部署が設置される予定です。復興の姿を国内外に情報発信するなど、被災地支援に積極的に取り組んでいきます。



スポーツと文化の両立を



五輪開催地にはすべての人々が文化芸術に触れ、参加できるプログラムを策定することが求められています。今後都は、国籍や老若男女を問わず世界中のあらゆる人々が参加し、体験できる文化プログラムを策定し、2020年の東京大会を史上最高のオリンピック・パラリンピック大会としていきます。